

B. 病院歯科に関する事項

* 1 病院は歯科を標榜しているが、現在歯科は治療を行っていないため、病院歯科は 34 病院とする。

I. 病院歯科の概要

1) 標榜科名

34 病院中歯科を標榜している病院歯科が 15 病院(44%)、次いで歯科口腔外科 6 病院(18%)、歯科・口腔外科 5 病院(15%)であった。

標榜科名	病院数	比率
歯科	15	44%
歯科口腔外科	6	18%
歯科・歯科口腔外科	5	15%
歯科・小児歯科	1	3%
歯科・矯正歯科	1	3%
歯科口腔外科・矯正歯科	1	3%
歯科・歯科口腔外科・小児歯科	1	3%
歯科・小児歯科・矯正歯科	1	3%
歯科・歯科口腔外科・小児歯科・矯正歯科	2(2)	6%
未回答	1	3%
合計	34	100%

() は大学附属病院

2) 常勤歯科医数

常勤の歯科医は 1 名が 15 病院(44%)で最も多く、次いで 2 名の 7 病院(21%)と常勤なし(非常勤のみ)の 7 病院(21%)となっている。

常勤歯科医数	病院数	比率
0名	7	21%
1名	15	44%
2名	7	21%
3名	1	3%
4名	0	0%
5名	0	0%
6名以上	2(2)	6%
未回答	2	6%
合計	34	100%

() は大学附属病院

3) 常勤スタッフ数

常勤スタッフ数	歯科衛生士	比率	歯科技工士	比率	看護婦	比率
なし	9(1)	26%	24(1)	71%	18	53%
1名	6	18%	3	9%	7	21%
2名	6	18%	2	6%	0	0%
3名	8	24%	0	0%	1	3%
4名	3	9%	0	0%	2(1)	6%
5名以上	2(1)	6%	1(1)	3%	1(1)	3%
未回答	0	0%	4	12%	5	15%
合計	34	100%	34	100%	34	100%

() は大学附属病院

常勤の歯科医師がない病院歯科が7病院あるが、常勤の歯科衛生士がない病院歯科が9病院ある。

4) 診療内容

診療内容は、一般歯科中心が20病院(59%)を占めている。口腔外科中心は4病院(12%)と少ない。

診療内容	病院数	比率
口腔外科中心	4(1)	12%
一般歯科中心	20	59%
中間型	9	27%
回答なし	1(1)	3%
合計	34	100%

() は大学附属病院

II. 診療実績

1) 初診患者数

過去1年間の初診患者数は500～1000名が9病院(26%)と最も多い。平均は1121.1名、最大は4961名であった。

初診患者数	病院数	比率
100名未満	0	0%
100～500名	9	26%
500～1000名	9(1)	26%
1000～2000名	6	18%
2000～3000名	1	3%
3000～4000名	2	6%
4000名以上	1(1)	3%
未回答	6	18%
合計	34	100%

() は大学附属病院

2) 入院患者数

過去1年間の入院患者数は、1～10名6病院(18%)、10～50名6病院(18%)が最も多かった。平均は42.8名最大は340名であった。

入院患者数	病院数	比率
0	7	21%
1～10名	6	18%
10～50名	6	18%
50～100名	2	6%
100～200名	1	3%
200～300名	1	3%
300～400名	1	3%
400～500名	0	0%
未回答	10	29%
合計	34	100%

5) 入院レセプト点数比率

14病院で、入院レセプト点数がない。

入院分%	病院数
0	14
0～10	6
10～20	3
20～30	1
30～40	2
40～50	0
50～60	0
60～70	0
70～80	0
80～90	0
合計	26

6) 損益分岐点

17病院(50%)が損益分岐点について知らされていないが、上回っていると回答したのは3病院(9%)のみである。

損益分岐点	病院数	比率
上回っている	3	9%
下回っている	12	35%
知らない	17	50%
回答なし	2	6%
合計	34	100%

7) 紹介率

病院歯科の紹介率の平均は 13.1% (19 病院)であった。病院歯科の 79%が 20%を下回っている。

紹介率	病院数	比率
20%未満	15	79%
20～30%	1	5%
30～50%	2(1)	11%
50%以上	1(1)	5%
合計	19	100%

() は大学附属病院

8) 院内依頼

院内紹介率は、36.2% (14 病院)で院外紹介率より高い。

精神科が主体の病院は 14 病院中 4 病院あり、どれも 50%以上であった。

院内紹介率	病院数	比率
20%未満	6	43%
20～30%	2	14%
30～50%	2	14%
50%以上	4	29%
合計	14	100%

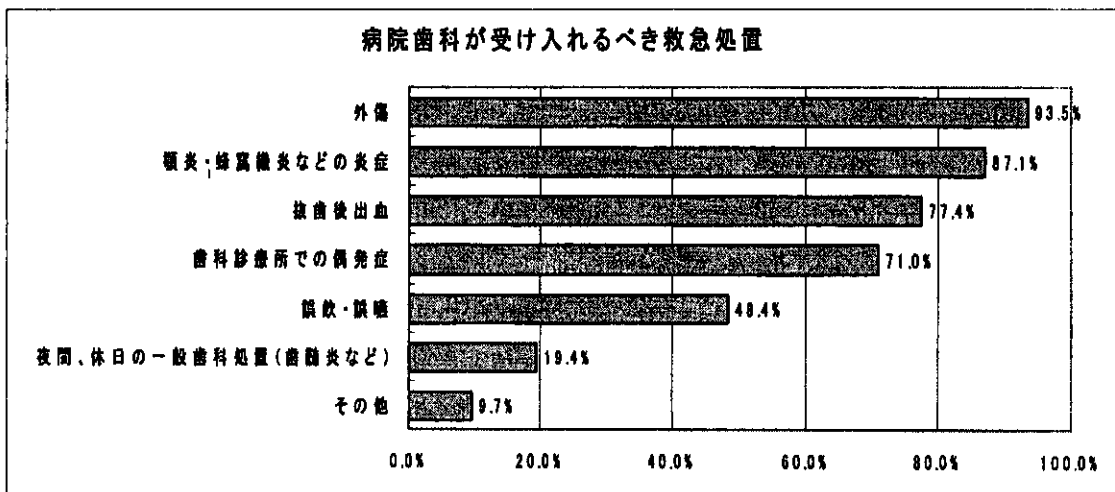
9) 平均在院日数

平均 11.8 日であった。

平均在院日数	病院数	比率
10日未満	9	60%
10～日	4	27%
20日以上	2	13%
合計	15	100%

Ⅲ. 歯科の救急体制

1) 病院歯科が受け入れるべき救急処置



救急処置	比率	病院数
その他	9.7%	3
夜間、休日の一般歯科処置(歯髄炎など)	19.4%	6
誤飲・誤嚥	48.4%	15
歯科診療所での偶発症	71.0%	22
抜歯後出血	77.4%	24
顎炎・蜂窩織炎などの炎症	87.1%	27
外傷	93.5%	29
合計	100.0%	31

外傷、顎炎・蜂窩織炎などの炎症など口腔外科的疾患が多くなっている。偶発症（誤飲・誤嚥）は71%である。

2) 救急患者の受け入れ

23 病院 (68%), 2/3 の病院が救急患者を受け入れている。

救急患者	病院数	比率
受け入れている	23(2)	68%
受け入れていない	11	32%
合計	34(2)	100%

() は大学附属病院

3) 救急を受け入れていると回答した 23 病院について

① 救急体制について

「ポケベルでの自宅待機」が 15 病院 (65%) であった。大学附属病院では当直制をとっている。

救急体制	病院数	比率
ポケベル等での自宅待機	15	65%
当直制	2(2)	9%
輪番制(他施設と)	0	0%
その他	5	22%
回答なし	1	4%
合計	23	100%

() は大学附属病院

② 受け入れ時間について

24 時間体制が 18 病院 (78%) であった。

受け入れ時間	病院数	比率
24時間体制	18(2)	78%
平日夜間のみ	0	0%
休日のみ	0	0%
その他	5	22%
合計	23	100%

() は大学附属病院

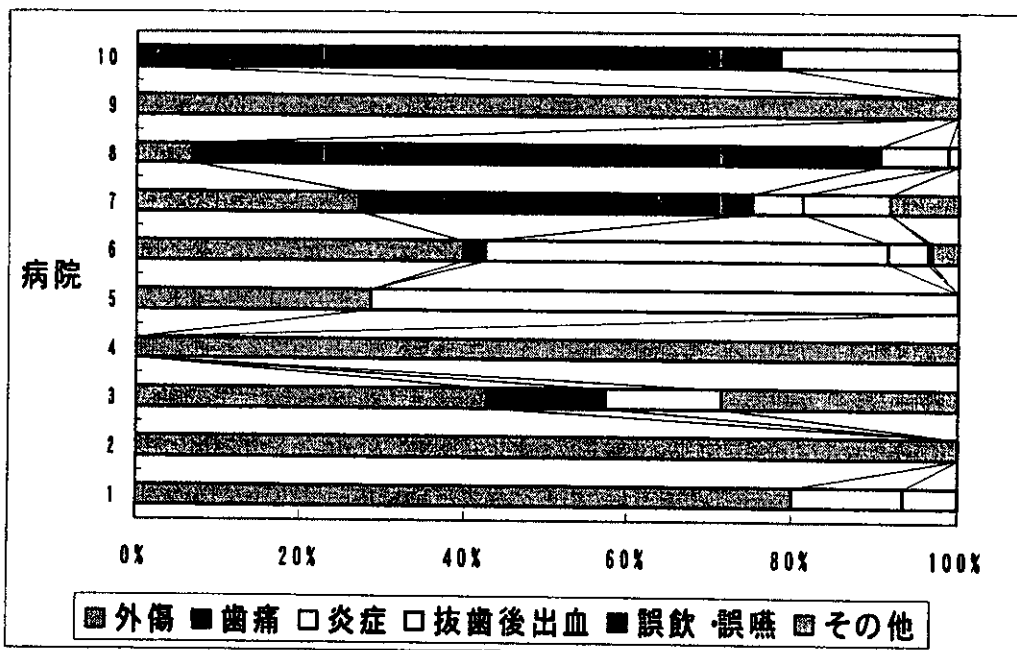
④救急患者の内容

救急患者の内訳については 10 病院の回答を得た。No.6 と No.8 は大学附属病院である。

歯痛(51%)が多く、外傷(22%)が少なくなっている。かかりつけ歯科医が病院歯科に求める機能として誤飲・誤嚥があげられているが、これにより来院すること症例はない。

病院歯科	歯科救急患者数	外傷	歯痛	炎症	抜歯後出血	誤飲・誤嚥	その他
No.1	15	12	0	2	1		
No.2	1	1					
No.3	35	15	5	5	0	0	10
No.4	1	0	0	0	0	0	1
No.5	14	4		10	0	0	
No.6	188	75	5	92	9	1	6
No.7	48	13	23	3	5	0	4
No.8	361	25	302	30	4	0	0
No.9	5	5	0	0	0	0	0
No.10	14	0	11	0	3	0	
合計	682	150	346	142	22	1	21
比率	100%	22%	51%	21%	3%	0%	3%

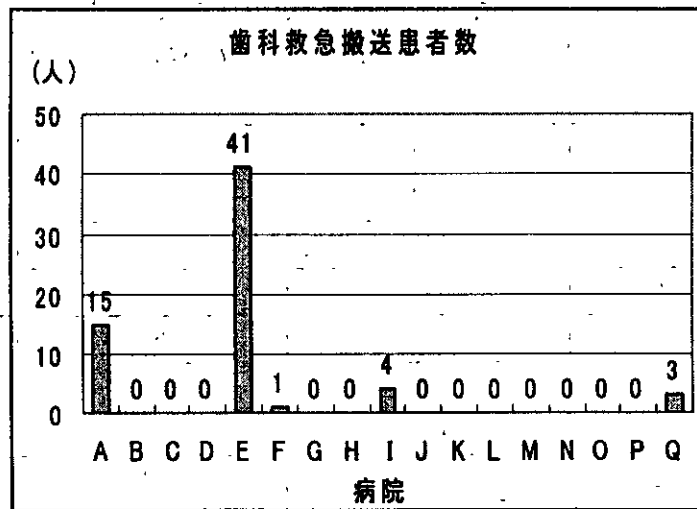
No.6, No.8 は大学附属病院



⑤救急車で搬送された歯科救急患者

回答を得たのは 17 病院で、搬送された患者数は 64 名であった。

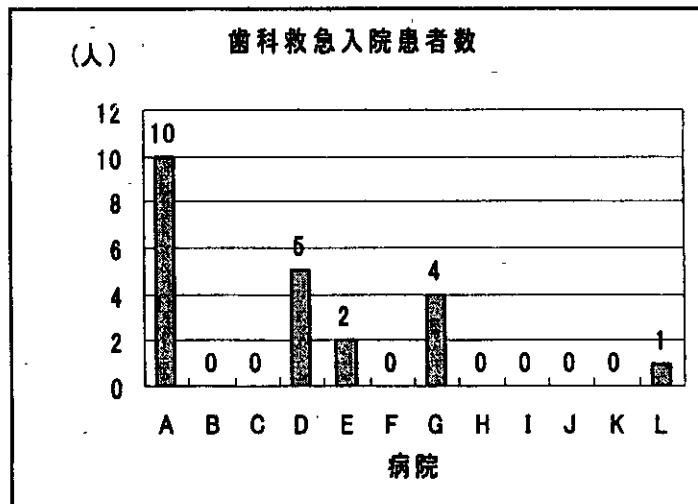
大学附属病院は E, F 病院である。



⑥歯科救急入院患者数

回答を得た 12 病院の合計は 22 名であった。

E 病院は大学附属病院。



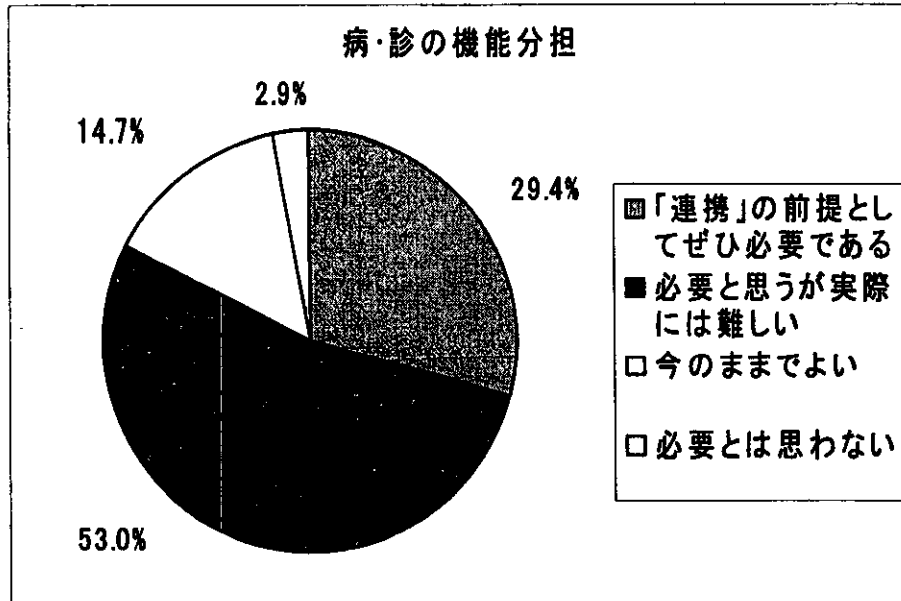
4) 救急を受け入れていない 11 病院の理由について

「病院が救急を行っていないから」、「必要性を感じないから」の理由がそれぞれ 2 病院からあった。

救急を受け入れない理由	病院数
スタッフが足りないから	0
病院が救急を行っていないから	2
必要性を感じないから	2
救急はやりたくないから	0
その他	1
未回答	6
合計	11

IV. 歯科の病診連携

1) 「病院歯科（病）と歯科診療所（診）の連携を推進する際、病・診の機能分担が必要である」ということについてどう思いますかとの設問に対する回答。



2) 病診連携の実施

病診連携	病院数	比率
地区歯科医師会と取り決めをして行っている	1	2.9%
取り決めはないが、実質的には行っている	16	47.1%
行っていない	17	50%
合計	34	100%

地区の歯科医師会と取り決めて行っている病院歯科は 1 病院(2.9%)で、実質的に行っているものを含めると 17 病院(50%)である。

地区歯科医師会と取り決めて行っている病院歯科は、病診連携の運営協議会を設置している。登録医制をとっている病院歯科はなかった。

病診連携を行っていない理由	病院数	比率
地区で病診連携についての取り決めがない	17	52%
必要性を感じない	2	6%
わからない	4	12%
その他	4	12%
回答なし	6	18%
合計	33	100%

地区歯科医師会との取り決めを行っていない 33 病院歯科では、病診連携を行っていない理由として「取り決めがない」が 17 病院(52%)、「わからない」が 6 病院(12%)であった。

3) 病診連携の予定について

33 病院中予定はないが 28 病院 (85%)、回答なし 5 病院 (15%)であった。

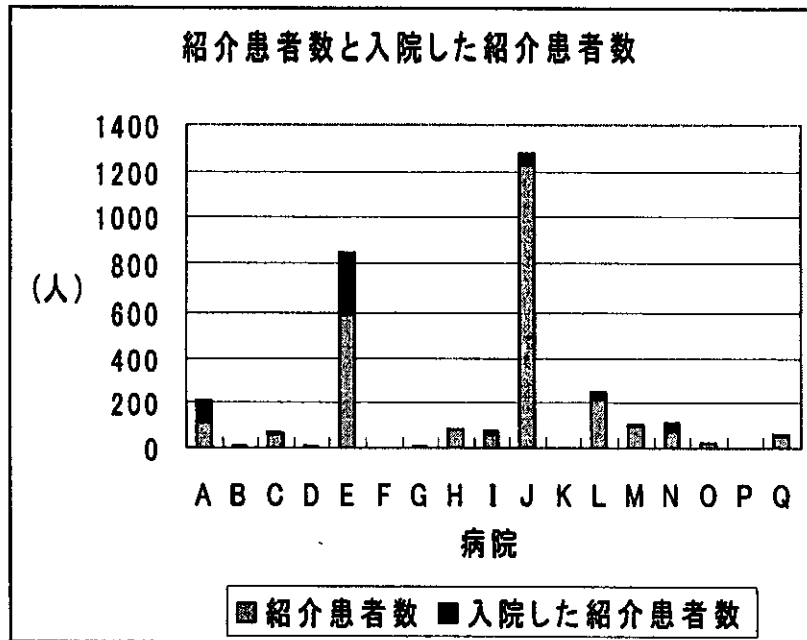
病診連携実施の予定	病院数	比率
平成年度からはじめる予定である	0	0%
あと2～3年の内に行う予定である	0	0%
予定はない	28	85%
回答なし	5	15%
合計	33	100%

4) 紹介患者について

① 紹介患者数と紹介患者で入院となった患者数について

病院	紹介患者数	入院した紹介患者数
No.1	115	98
No.2	4	0
No.3	60	5
No.4	5	0
No.5	595	248
No.6	0	0
No.7	5	1
No.8	80	0
No.9	62	16
No.10	1228	54
No.11	0	0
No.12	218	32
No.13	100	3
No.14	77	35
No.15	21	3
No.16	1	0
No.17	49	8

No.5 は大学附属病院

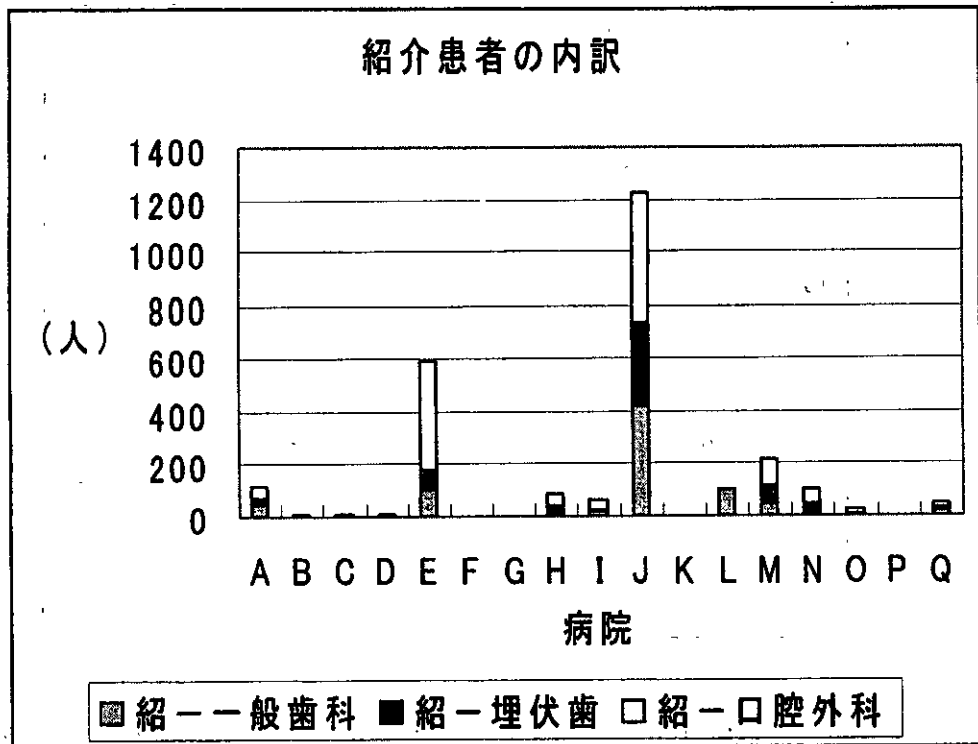


Eは大学附属病院

17 病院で紹介患者数は 0 から 1000 名以上まで様々で、入院率も異なる。平均入院率は 19.2%であった。

②紹介患者の疾患別内訳

病院	紹介で一般歯科治療	紹介で埋伏歯処置	紹介で口腔外科疾患
A	47	20	48
B	5	0	0
C	0	3	1
D	0	4	1
E	98	85	413
F	0	0	0
G	0	0	1
H	3	40	40
I	13	10	39
J	425	314	489
K	0	0	0
L	100	0	0
M	48	72	98
N	0	50	50
O	5	6	10
P	0	0	1
Q	12	21	16



Eは大学附属病院

紹介患者の内訳を、一般歯科治療（有病者および埋伏歯以外の抜歯を含む）、埋伏歯、口腔外科的疾患の3つに分けて示した。一般歯科治療の紹介患者は全般に少なく、口腔外科的疾患が多い。

5) 生涯研修

生涯研修を行っていない病院歯科が 34 病院中 29 病院(85.3%)であった。生涯研修を行っている病院歯科は、5 病院(14.7%)と少ない。

生涯研修等の実施	病院	比率
勉強会、症例検討会などを行っている	3	8.8%
見学を受け入れている	1	2.9%
診療行為も研修に含んでいる	1	2.9%
行っていない	29	85.3%
合計	34	100%

V. 在宅歯科診療

1) 在宅歯科診療の実施

在宅歯科診療を実施しているのは、6 病院(17.6%)、実施していないのは 28 病院(82.4%)であった。

在宅歯科診療	病院数	比率
行っている	6	17.6%
行っていない	28	82.4%
合計	34	100%

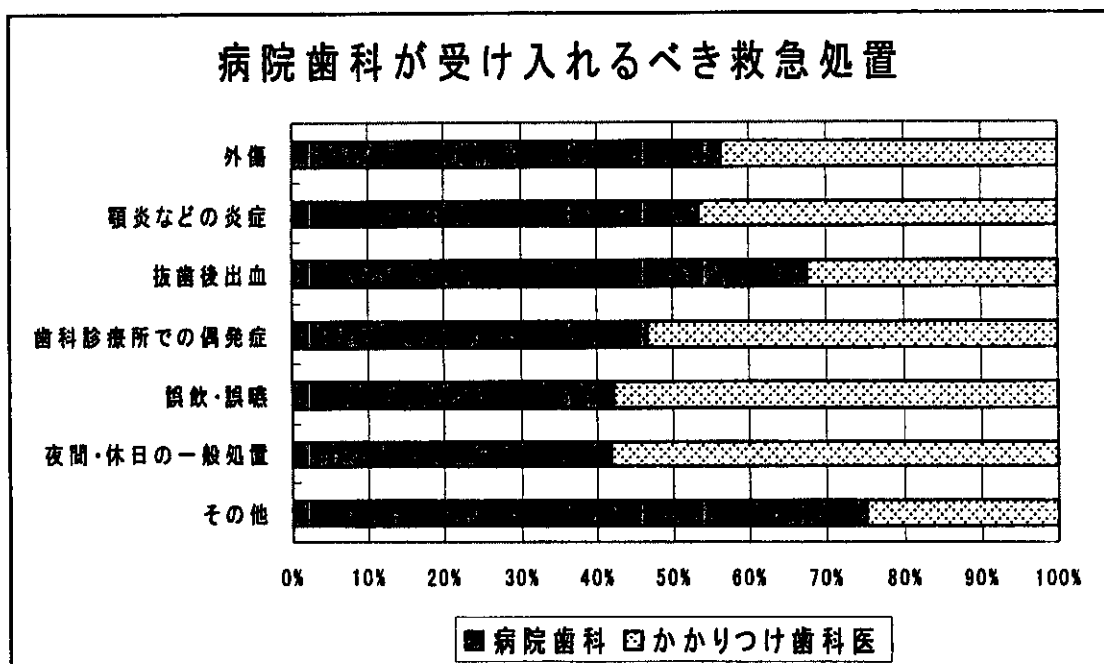
2) 在宅歯科診療の後方支援について

在宅歯科診療の後方支援	病院数	比率
行っていない	16	57.2%
在宅で対応できない患者の入院治療を行っている	3	10.7%
その他	3	10.7%
回答なし	6	21.4%
合計	28	100%

後方支援を行っている病院歯科は3病院(10.7%)と少ない。

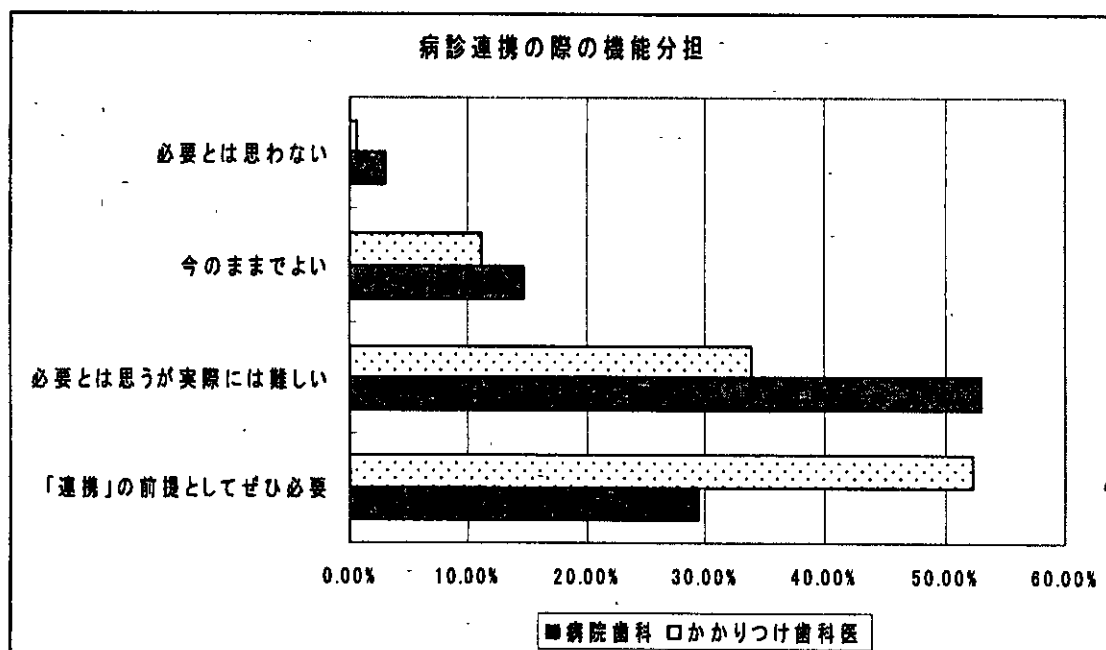
VI. 病院歯科の意識調査（かかりつけ歯科医アンケート調査との比較）

1) 病院歯科が受け入れるべき救急処置について。Ⅲ. 1)を参照



病院歯科が受け入れるべき救急処置は、病院歯科では抜歯後出血が多くなっているが、かかりつけ歯科医は偶発症、夜間・休日の一般処置を多く望んでいる。夜間・休日診療施設の整備やかかりつけ歯科医の当番制なども考慮する必要がある。

2) 病診連携の際の機能分担について IV. 1)を参照

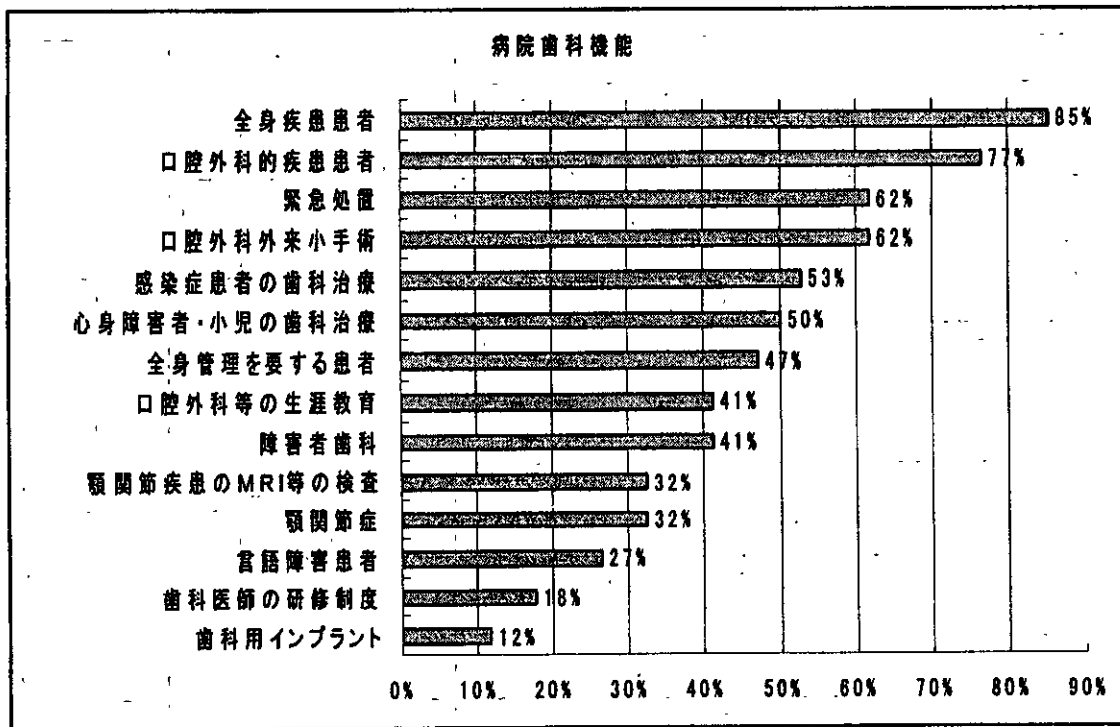


機能分担については、病院歯科では「必要と思うが実際には難しい」との回答が多く、かかりつけ歯科医では「連携の前提としてぜひ必要である」としており、両者で機能分担の推進に対して意見が異なっている。

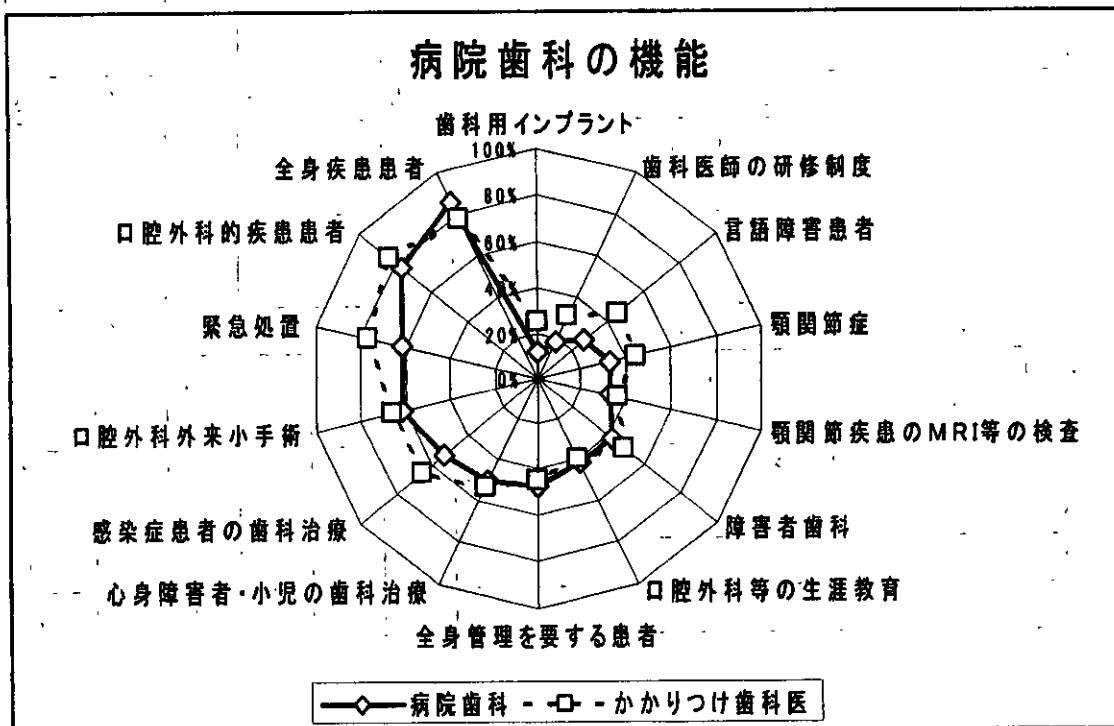
3) かかりつけ医の機能について

かかりつけ歯科医機能	1位	2位	3位	4位	5位	合計
交通の便がよい、駐車場があるなど通院しやすい条件が整っている。	6	1	2	0	1	10
保険診療を原則とし、私費の場合も料金は事前に明確にする。	1	1	1	1	1	5
時間や回数がかかりすぎないように配慮する。	0	0	0	1	0	1
緊急の時は夜間や休日でも対応する。	4	1	1	1	1	8
衛生的・快適に治療が受けられるよう診療室を整えている。	1	0	1	1	1	4
遅い時間まで受付している。	0	0	0	1	0	1
予防処置や保護指導を積極的に行う。	1	6	4	1	2	14
患者または家族からの求めに応じて訪問歯科診療を行う。	0	0	0	1	4	5
病気や障害のある患者にも対応できる。	1	1	1	3	1	7
子供から高齢者まで家族全員に対応できる。	7	7	7	2	1	24
患者の訴えや希望を良く聞く。	4	1	4	0	2	11
歯科疾患や義歯等の相談にも電話を含めて懇切丁寧に対応する。	0	1	1	3	1	6
処置、指導、薬剤等の内容を患者が納得するまで説明する。	0	2	0	0	3	5
定期的な健診や継続的な指導管理を行う。	5	6	5	8	2	26
患者さんが重篤な病気や障害になっても、継続して対応していく。	0	1	0	1	2	4
病歴(カルテ)を長期間保存し、いつでも活用できるようにする。	0	0	0	2	1	3
専門分野を明確に持ち、常に研鑽を努める。	0	3	0	1	0	4
高次の治療が必要な患者に対して紹介できる専門医療機関がある。	3	0	1	2	5	11
地域の保健医療サービスを熟知し、連携・調整している。	0	2	2	3	4	11
未回答	1	0	4	2	2	9
合計	34	34	34	34	34	170

4) かかりつけ歯科医に対して病院歯科が備えるべき機能



病院歯科では、「全身疾患を有し医科との連携が必要な患者」85%、「口腔外科的疾患患者」が77.0%と高い比率を示している。医療機器の共同利用である「顎関節疾患のMRI、インプラント術前のCT等の検査」は32%と低い。



病院歯科の機能に対しては、病院歯科の歯科医とかかりつけ歯科医ではほぼ一致している。

C. 地域医療支援病院の候補について

アンケート項目のうち、病床数、救急体制、病診連携、院外医師の診察、研修会の開催、医療機器の共同利用、連携ベッドなど7項目は地域医療支援病院の要件にあてはまるものである。この7項目にあてはまる病院は35病院中1病院に過ぎないので

- 1.200床以上
- 2.2次または3次の救急を実施
- 3.病診連携を実施している

以上3項目を満たす14病院を仮に「地域医療支援病院候補病院」（以下「候補病院」と呼ぶ）として検討した。

候補病院の保健医療圏毎の分布、開設者別病院数、平均在院日数を示す。

保健医療圏	候補病院
村上	1
新発田	1
新津	0
新潟	2
巻・三条	3
長岡	3
小出	1
六日町	1
十日町	0
柏崎	1
上越	1
糸魚川	0
佐渡	0

開設者	候補病院
厚生省	0
文部省	0
労働福祉事業団	0
都道府県	3
市町村	2
日赤	1
厚生連	4
健康保険組合及びその連合会	0
共済組合及びその連合会	0
公益法人	1
医療法人	2
会社	0
その他の法人	1
合計	14

候補病院は、新津、十日町、糸魚川、佐渡保健医療圏にはなく、他の9医療圏には1から3病院が分布している。14病院中公立（県立、市町村立）病院5病院、厚生連病院4病院が占めている。

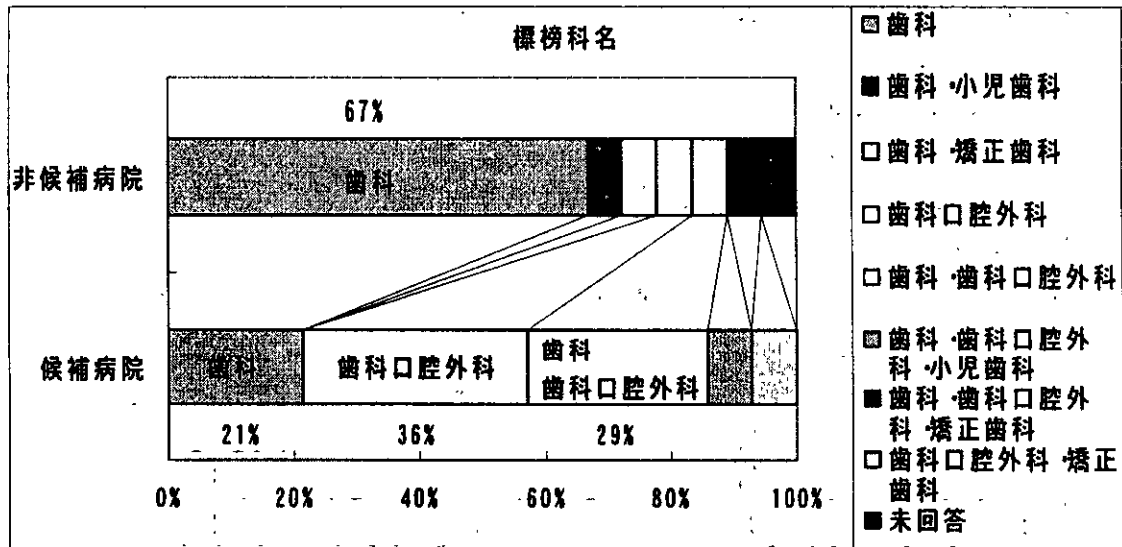
平均在院日数	候補病院
10～20日	7
20～30日	5
30～40日	1
40～50日	0
50～60日	0
100日以上	1
未回答	0

以下、候補病院の病院歯科と非候補病院の病院歯科について比較検討した。

1) 病院歯科の概要

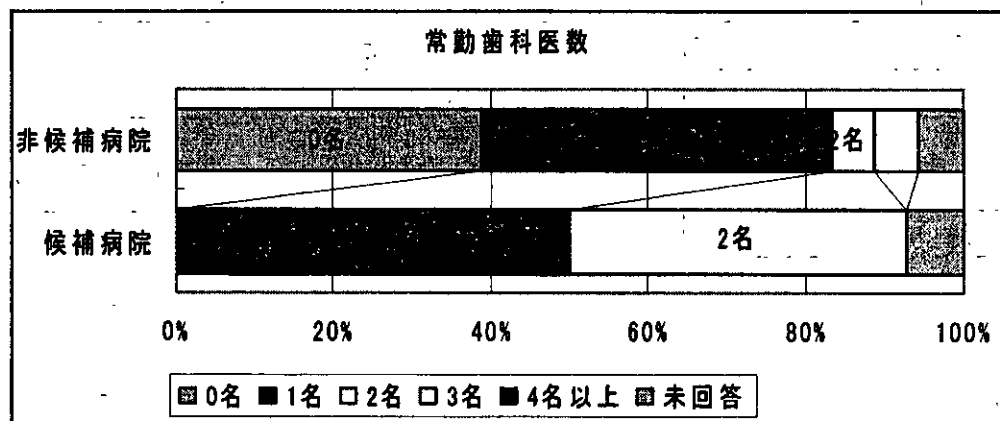
① 標榜科名

標榜科名について候補病院では歯科口腔外科を標榜する病院が 79%と多い。非候補病院では、歯科単独を標榜する病院が 67%であった。



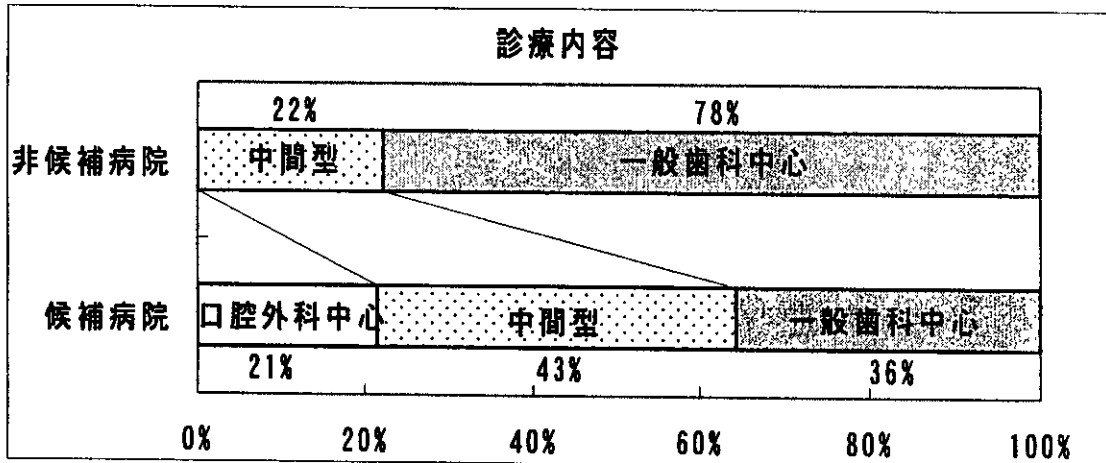
② 常勤歯科医師数

常勤歯科医師数は、候補病院では平均 1.5 名であったが、非候補病院では 0.7 名であり、7 病院に常勤歯科医師がいない。



③病院歯科の診療内容

診療内容について候補病院では口腔外科中心が 3 病院 (21%)ある。非候補病院では一般歯科中心が 14 病院 (78%)である。



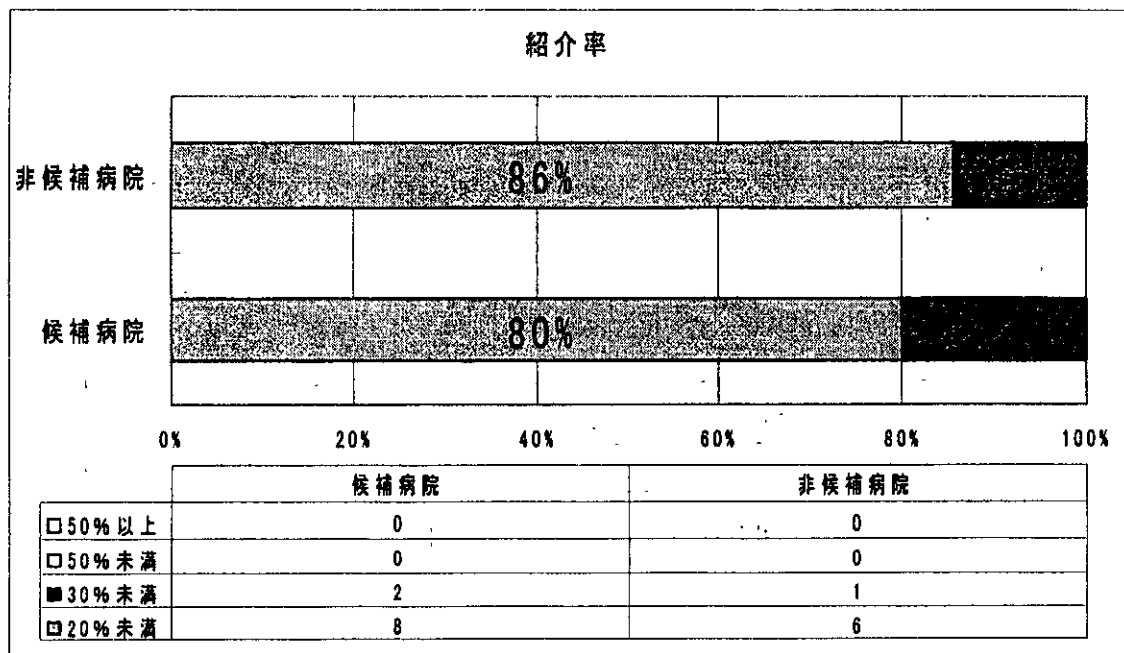
④学会関連

各学会の指導医、認定医には差がない。

	候補病院 (14病院)	非候補病院 (18病院)
日本口腔外科学会研修指定機関	0	0
その他の研修指定機関	1	2
日本口腔外科学会指導医	1	0
日本歯科保存学会指導医	0	1
歯周病学会指導医	0	1
その他の指導医	0	3
日本口腔外科学会認定医	2	1
日本歯科補綴学会認定医	0	1
日本小児歯科学会認定医	0	0
歯周病学会認定医	1	3
その他の認定医	0	2

2) 診療実績

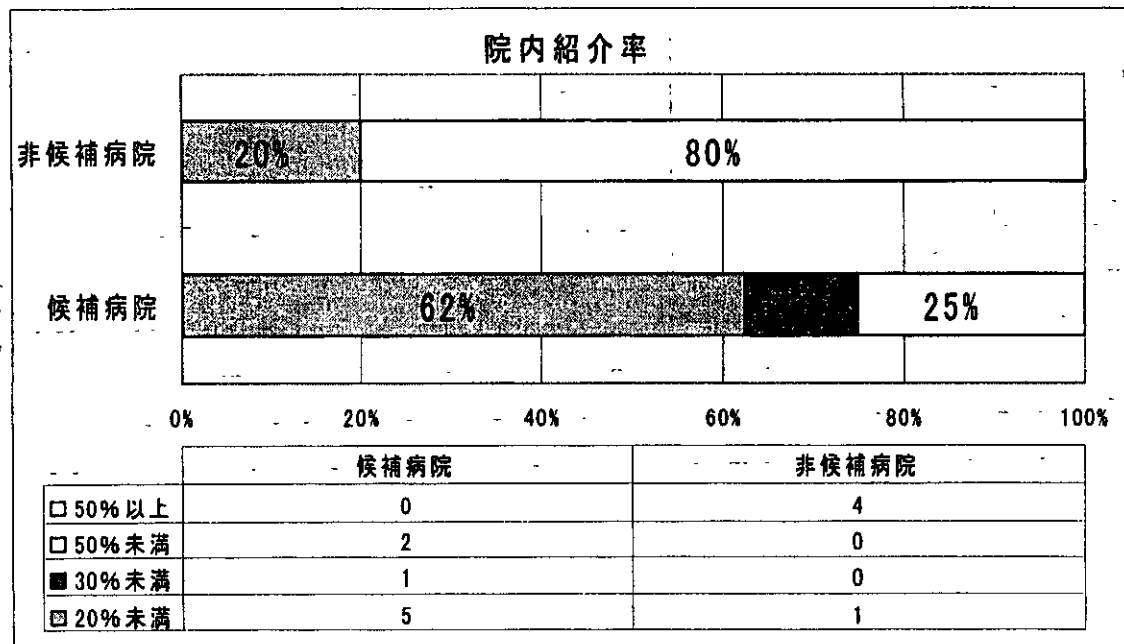
紹介率は、候補病院，非候補病院共にほぼ同様である。



(未回答を除く)

3) 院内紹介

非候補病院で院内紹介率が高い。



(未回答を除く)

4) 救急体制

救急の受け入れ

14 候補病院中 13 病院 (93%) が救急患者を受け入れているが、18 非候補病院中受け入れているのは 8 病院 (44%) である。

